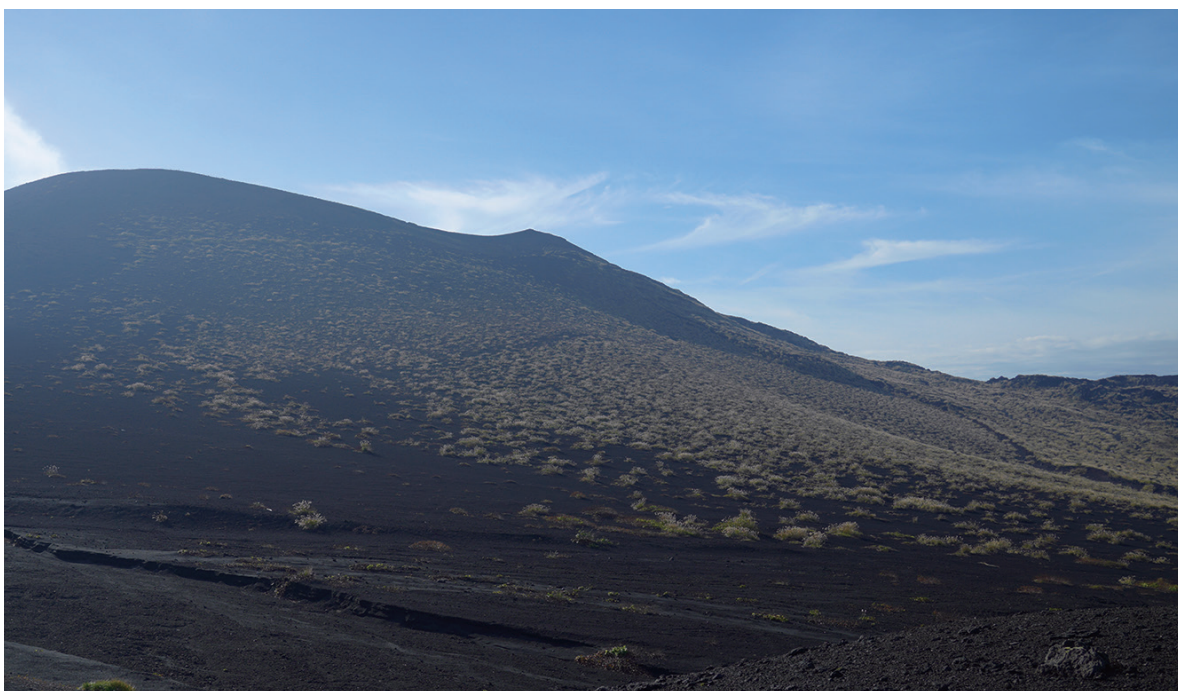
東京ネイチャースコープ
Tokyo Nature Scope

伊豆大島（いずおおしま）（大島町）

火山島で生きる動植物



伊豆大島は東京都心から南に1,200キロの太平洋上に位置します。島の中央には三原山があり、今も火山活動が続いています。

火口から下ると、溶岩の粒でできた黒い砂漠のような景色が広がり、ススキが見られます。ススキは草原をつくり、その上に木が生えてやがて森ができていきます。伊豆大島はこうした自然のうつろいを間近で体感できる場所なのです。

噴火の影響は海岸まで見られ、ごつごつとした溶岩でできた磯が広がります。伊豆大島では、山頂から海辺まで、活火山が作り出したダイナミックな自然にたくさんの命が集まります。

【見られる生きもの】

ススキ	明るい草原に生えます。伊豆大島では、ハチジョウススキも自生します。
ヤブツバキ	11月頃から咲きはじめ、4月下旬まで見られます。伊豆大島は椿の島ともいわれています。
シチトウメジロ	本州のメジロとくらべ、体が若干大きく、クチバシも太く長いことで知られる伊豆諸島のメジロです。
タイワンザル（外来種）	名前のとおり、本来は台湾に住むサルです。畑作物への被害などを及ぼすことがあります。
ウミウ	鋭いくちばしで、潜って魚を食べる鳥。海に潜ったあとは、濡れた羽を広げて乾かす姿がみられます。
イソヒヨドリ	オスは赤と青の派手な色が印象的。磯に多い鳥でしたが、都市部へも生息域を拡大してきています。

イソヒヨドリ

シチトウメジロ

この伊豆大島だけでなく、東京には個性豊かな島々があり、それぞれに固有の環境をもっています。こうした環境やそこにすむ生きものを守るためにも、本来の環境を守っていくことが重要です。